

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

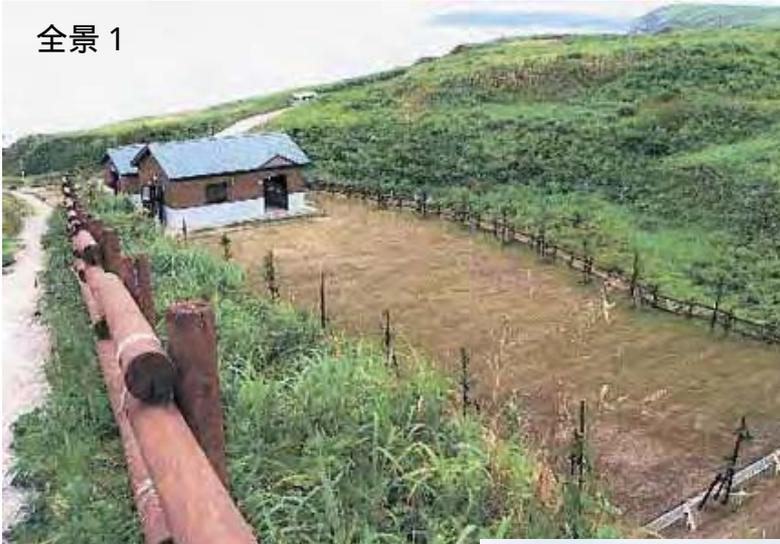
1 国定公園名等	暑寒別天売焼尻国定公園
2 施設名	公衆トイレ・炊事棟
3 公園事業名等	白浜野営場
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	新規整備
6 事業主体	北海道
7 事業費	27,440千円
8 交付金	12,348千円
9 施設概要	公衆トイレ1棟24.84㎡、炊事棟1棟44.72㎡

10 事例の解説（特徴等）

当該地は児童や生徒の自然体験学習の場として活用されているが、仮設トイレが設置されているなど利便性や衛生面から不十分な施設となっていた。
 このため、自然体験学習の場としての利用を推進するため、衛生的で安心して使用できる公衆トイレや炊事・脱衣棟を野営場に整備したものの。

11 施設写真

全景 1



炊事棟



全景 2



公衆トイレ内部



自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	下北国定公園
2 施設名	公衆トイレ
3 公園事業名等	仏ヶ浦園地
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	青森県佐井村
7 事業費	820千円
8 交付金	369千円
9 施設概要	公衆トイレ(RC造平屋建) 建築面積:19.92㎡

10 事例の解説(特徴等)

仏ヶ浦園地は、下北半島の西側に位置し、名勝仏ヶ浦は海岸線に切り立つように郡立する奇岩が2kmに渡って続く様が圧巻である。陸路からのアクセスの外に海上遊覧コースもあり、年間24万人の行楽客等の利用がある。霊山恐山と並ぶ下北半島の利用集中地区となっている。既存施設の外壁・屋根の老朽化が著しいため再整備を行ったもの。周辺の景観へ配慮した配色で外壁の塗装を行った。

11 施設写真



再整備後

再整備前



仏ヶ浦の景観



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	栗駒国定公園
2 施設名	昭和湖公衆トイレ
3 公園事業名	須川温泉駒ノ湯線道路(歩道)
4 整備箇所	岩手県一関市巖美町祭時山国有林
5 整備年度	平成21・22年度
6 新規整備・再整備	新規整備
7 事業主体	岩手県
8 事業費	31,761,000円
9 交付金	14,292,000円
10 施設概要	建築面積19.69㎡、簡易水洗・汚水処理方式トイレ
11 事例の解説(特徴等)	<p>栗駒国定公園「栗駒山」は、花の百名山や東北百名山に数えられ、高山植物はもとより紅葉でも有名で、年間30万人の利用者が訪れる地域である。このように多くの利用者が訪れる中、栗駒山に登るメインルートには、トイレが無く、登山道脇で用を足す姿が散見されることから、周辺環境を良好に保つため、交付金事業によりトイレを整備したものである。</p> <p>整備にあたっては、周辺の自然景観に配慮したデザインとしたほか、トイレは汚水を土壌処理したのち再利用する循環型トイレとしている。また、雨水も手洗い水として有効活用する方法としている。</p>
12 施設写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>利用状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ設備</p>  <p>雨水利用手洗い器 (手押ポンプで水を汲み揚げ利用)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>完成状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ設備</p>  <p>簡易水洗トイレ (足踏ポンプで水を汲み揚げ利用)</p> </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	水郷筑波国定公園
2 施設名	園地・展望休憩所
3 公園事業名	浮島園地
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	茨城県
7 事業費	40,400千円
8 交付金	18,180千円
9 施設概要	園地整備・展望休憩所
10 事例の解説（特徴等）	<p>当該地では既存の利用施設が老朽化し、利用者の快適な利用に支障をきたしており、また無機質でぬくもりが乏しいものとなっている。</p> <p>このため、既存の園地の再整備を実施するとともに、展望休憩所の新設を行った。再整備に際しては積極的に木材を利用したほか、マツ林の保全などの植生復元もあわせて行っている。</p>
11 施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>展望休憩所</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>木製水路</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>園路</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>マツ林復元</p> </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	首都圏自然歩道
3 公園事業名等	首都圏自然歩道
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	群馬県
7 事業費	16,097千円
8 交付金	7,110千円
9 施設概要	標識、木階段、橋梁等

10 事例の解説（特徴等）

当該地の首都圏自然歩道は、昭和40年代後半の整備以降、必要な維持補修を実施しているものの老朽化や標識類の不足により、利用に支障が生じている箇所がある。
 このため、必要な標識類を整備するとともに、崩壊した木製階段や老朽化した木橋の再整備等を実施することにより、安全性と快適性の向上を図ったもの。

11 施設写真



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）
3 公園事業名等	首都圏自然歩道
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	千葉県
7 事業費	30,657千円
8 交付金	13,796千円
9 施設概要	歩道整備、標識、転落防止柵、法面復旧等

10 事例の解説（特徴等）

首都圏自然歩道は整備後約20年が経過しており、公衆トイレ、標識、階段等の各種施設の老朽化が進んでいる。また、歩道の一部では法面の崩落等による危険箇所が発生している。このため、利用者の利便性と安全性の向上を図るため、これらの各種施設の再整備を実施したものの。

11 施設写真



案内標識

標識再整備



指導標

歩道再整備



再整備前



再整備後

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	首都圏自然歩道（解説標識）
3 公園事業名等	首都圏自然歩道
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	神奈川県
7 事業費	2,800千円
8 交付金	1,000千円
9 施設概要	解説標識
10 事例の解説（特徴等）	<p>首都圏自然歩道は三浦半島の海岸部から相模湾沿いを経て丘陵部、丹沢大山国定公園を通り東京都に至る。特に三浦半島に位置する「神1三浦・岩礁のみち」などは首都圏自然歩道の中でも数少ない岩礁や干潟のある路線であり、多くの生き物を観察することができ、また風光明媚なため利用者が多い。</p> <p>このため、身近な自然を見つめ直すという視点における自然環境保全の普及啓発には最適の場所であり、岩礁、干潟、砂浜、入江の各場所に自然解説標識を設置した。この標識はそこに生息する生物の一部を解説することで自然に興味を持ってもらうことにある。</p>
11 施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>解説標識（干潟）</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>設置箇所 景観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>解説標識（入江）</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>設置箇所 景観</p>  </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	東海自然歩道
3 公園事業名等	東海自然歩道
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	新規整備
6 事業主体	神奈川県
7 事業費	22,600千円
8 交付金	5,000千円
9 施設概要	歩道、公衆トイレ1棟40m ²

10 事例の解説（特徴等）

自然豊かな地域における適正な利用施設の整備し、東海自然歩道の利用促進及び利用者の安全確保を図るため、老朽化した既存施設は更新を図り、公衆トイレ等利用者の快適な利用のために必要な施設の新設を実施したものの。

11 施設写真



公衆トイレ整備

トイレ設備



再整備前



歩道再整備

再整備後

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	越後三山只見国定公園
2 施設名	木道施設
3 公園事業名	平ヶ岳線歩道事業
4 整備箇所	新潟県魚沼市宇津野 地内
5 整備年度	平成21年度
6 事業主体	新潟県
7 事業費	37,994,000円
8 交付金	17,097,000円(国庫補助金45%分)
9 施設概要	施工区間延長:1.791.0m、木道(4mタイプ)49基、テラス3基

10 事例の解説(特徴等)

平ヶ岳は日本百名山として知られ、頂上一帯に湿原が広がり高山植物等の宝庫となっているため、年間8千人の登山利用者が訪れ、年間を通じて賑わいを見せているが、既存施設(木道等)の老朽化が著しいため、交付金事業により施設の改善・向上を行ったもの。
再整備にあたっては、周辺の自然景観や環境への負担を低減を図るため、地場産材など自然素材の活用を推進した結果、公園利用者から好評を得ることができるとともに、公園全体の利用促進を図ることができた。

11 施設写真

テラス設置により疲労に伴う、登山事故の低減化に繋がっている



施設全景(利用状況)の写真



施設(設置完了)全景の写真



施設(老朽化)全景の写真



施設設置による利用環境向上の写真

利用者による踏込みでテラス周辺の湿原が裸地化を起している

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	越後三山只見国定公園
2 施設名	木道施設
3 公園事業名	越後三山線歩道事業
4 整備箇所	新潟県魚沼市宇津野 地内
5 整備年度	平成22年度
6 事業主体	新潟県
7 事業費	27,263,250円(工事費)
8 交付金	12,268,000円(国庫補助金45%分)
9 施設概要	施工区間延長:3.278.7m、木道92基、階段工181基、梯子階段11基

10 事例の解説(特徴等)

駒ヶ岳は日本百名山として知られており、山頂付近には多数の高山植物が群生し自然の宝庫となっている。年間8千人の登山利用者が訪れる一方で、劣悪な登山道は百名山で最も悪いとして有名であったことから、交付金事業により施設の改善・向上を行ったもの。
整備にあたっては、周辺の自然景観や環境への負担を低減を図るため、地場産材など自然素材の活用を推進した結果、公園利用者から好評を得ることができるとともに、公園全体の利用促進が図ることができた。

11 施設写真

ぬかるみの道を木道化する事で公園利用者の満足度の増加につながった

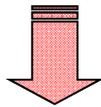


歩道(荒廃)全景の写真

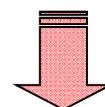
登山道の複線化が著しい



歩道(荒廃)全景の写真



施設全景(利用状況)の写真



施設設置による利用環境向上の写真

施設(設置完了)全景の写真

利用者の踏込みにより高山植物の衰退が生じていたが、施設整備により利用環境の悪化の防止と保全・復元が図られた。

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	妙義荒船佐久高原国定公園
2 施設名	古谷溪谷園地
3 公園事業名	秩父佐久町線車道
4 整備箇所	南佐久郡佐久穂町古谷溪谷
5 整備年度	平成22年度
6 事業主体	佐久穂町 産業振興課
7 事業費	11,500,000円
8 交付金	5,175,000円
9 施設概要	歩道整備 延長204m
10 事例の解説(特徴等)	<p>長野県南佐久郡佐久穂町を通る県道299号線(通称 武州街道)沿いにある古谷溪谷は、県内外からの観光客が春から秋にかけて多く訪れる景勝地である。 しかし、既存の歩道は幅が狭く谷への転落等の恐れのある危険箇所が多くあったため、本事業により歩道の拡幅と木製階段・手摺等を整備し、利用者の安全の確保を図るとともに利便性を高めた。 これにより、県道から直接入って歩ける歩道が整備され、さらに景勝地として利用拡大が図られた。</p>
11 施設写真	<div data-bbox="225 992 810 1420"><p>古谷溪谷園地</p><p>歩道整備前</p></div> <div data-bbox="836 992 1422 1420"><p>歩道整備後</p></div> <div data-bbox="233 1464 810 1888"><p>古谷溪谷園地</p><p>歩道整備前</p></div> <div data-bbox="836 1464 1422 1888"><p>歩道整備後</p></div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	中信高原線歩道
3 公園事業名	中信高原線歩道
4 整備箇所	長野県松本市入山辺
5 整備年度	平成22年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	松本市 商工観光部 観光温泉課
8 事業費	7,182,000円
9 交付金	3,231,000円
10 施設概要	歩道整備 延長5.2km (道標8基、注意標識2基、路面排水工30箇所、ロープ張工3箇所)
11 事例の解説(特徴等)	<p>長野県松本市美ヶ原高原は年間65万人が訪れ、特に初夏から秋の紅葉までのシーズン中は多くの来訪者で賑わう地域である。本事業箇所は、美ヶ原高原から続く登山道として、大変眺望も良く初心者でも気軽に利用することができるが、既存道標の老朽化が著しく、また、排水施設が未整備のため雨天時には歩道に地表流が発生する。</p> <p>このため、利用者の安全性、利便性の向上を目的として、道標の設置や路面排水工、崩落地への注意喚起などを実施した。また、整備にあたっては、周辺の自然環境へ配慮したデザインとしたほか、県産材など自然素材の活用を積極的に行った。</p> <p>歩道整備により、今後、多くの利用者が安全で快適に利用でき、地域全体の利用促進を図ることができた。</p>
12 施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>中信高原線歩道からの眺望</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>道標整備後</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>道標整備後</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>中信高原線歩道</p>  </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	美ヶ原登山線歩道、広小場線歩道
3 公園事業名	美ヶ原登山線歩道整備、広小場線歩道整備
4 整備箇所	長野県松本市入山辺
5 整備年度	平成20～21年度
6 新規整備・再整備	新規整備
7 事業主体	松本市 商工観光部 観光温泉課
8 事業費	21,472,500円
9 交付金	9,659,000円
10 施設概要	歩道整備 延長18.9km(案内看板4基、道標40基、土留工2基)
11 事例の解説(特徴等)	

長野県松本市美ヶ原高原は年間65万人が訪れ、特に初夏から秋の紅葉までのシーズン中は多くの来訪者で賑わう地域である。また、本事業箇所の一部は市内小学生が学校行事として美ヶ原高原への登山を行う際のルートとなっており、地域住民からも親しまれている。

一方で、既存道標の老朽化が著しく歩道に崩落箇所等もあるため、利用者の安全性、利便性の向上を目的として、案内看板及び道標の設置、崩落地への土留工の施工を実施した。

また、歩道整備にあたっては、周辺の自然環境へ配慮したデザインとしたほか、県産材など自然素材の活用を積極的に行った。

歩道整備の結果、安全で快適にアルプスなどの眺望を楽しむ事ができ、利用者や地元住民からは好評を得る事ができ、利用促進を図ることが出来た。

12 施設写真



美ヶ原登山線歩道



利用状況



道標整備後



美ヶ原高原



案内看板整備後

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	車山・八島ヶ原湿原遊歩道
3 公園事業名	七島、八島線歩道
4 整備箇所	長野県諏訪市霧ヶ峰
5 整備年度	平成20～21年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	諏訪市 教育委員会 生涯学習課
8 事業費	11,970,000円
9 交付金	5,385,000円
10 施設概要	木道整備 延長309m 幅員0.9m
11 事例の解説(特徴等)	<p>長野県諏訪市にある国天然記念物の霧ヶ峰湿原植物群落は、霧ヶ峰への来訪者にとっては目玉の一つとして修学旅行など団体での利用も多い。しかし、これらのうち車山湿原の遊歩道では木道が部分的にしか設置されておらず、降雨後のぬかるみ・水溜まりなどの危険区間が多いほか、水たまりやぬかるみを避けるために遊歩道を外れて湿原・草原内へ踏み込む来訪者もあり、これにより裸地化・踏み跡化してしまっている部分がある。また、八島ヶ原湿原については既存の木道の老朽化が著しく進行しており、踏板の折損や基礎部分の腐朽による破損が頻発している。</p> <p>これに対し、本事業により木道設置(車山湿原)・木道改修(八島ヶ原湿原)を行い、湿原植生の保護と利用者の利便性を高めることができ、利用者にも好評で地域の利用促進を図ることができた。</p>
12 施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>霧ヶ峰高原</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>木道整備後</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>八島ヶ原湿原</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>木道整備後</p> </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	横谷線車道
3 公園事業名	横谷線車道事業
4 整備箇所	長野県茅野市北山蓼科
5 整備年度	平成22年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	茅野市 都市建設部 建設課
8 事業費	10,000,000円
9 交付金	4,500,000円
10 施設概要	車道舗装 延長135m 幅員6.0m
11 事例の解説(特徴等)	

長野県茅野市横谷線車道は、昭和40年に蓼科高原でも車の通行量の多い蓼科ビレッジ内に建設されたが、舗装路面及び排水施設の老朽化と通過車両の増により、施設の損傷が著しかった。これにより車両の通行に支障をきたすとともに、豪雨時には排水工から水が溢れ沿線に被害をもたらすこともあった。

しかし、本事業の舗装整備・排水施設整備により、快適な道路環境が整うとともに利用者の安全の確保を図ることができた。

12 施設写真



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	八ヶ岳中信高原国定公園
2 施設名	八千穂高原休憩場
3 公園事業名	八千穂集団施設地区野営場休憩場
4 整備箇所	長野県南佐久郡佐久穂町駒出池
5 整備年度	平成21年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	佐久穂町 産業振興課
8 事業費	6,930,000円
9 交付金	3,118,500円
10 施設概要	休憩施設 1棟
11 事例の解説(特徴等)	<p>長野県南佐久郡佐久穂町にある八千穂集団施設地区は、広大な自然の中に各種施設を有し、高原の中心には駒出池があるため県内外から春から秋にかけて多くの観光客が訪れる観光地である。休憩施設は、八千穂高原遊歩道とキャンプ場利用者の休憩施設として利用されたいが、老朽化が著しかったため再整備を行うことにより、利用者の利便性を高めた。この園地内の施設の改善により、キャンプ場等の利用拡大が図られた。</p>
12 施設写真	<div data-bbox="258 1064 507 1115" data-label="Caption"><p>八千穂高原</p></div> <div data-bbox="483 1025 1098 1415" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1145 1216 1394 1267" data-label="Caption"><p>休憩施設整備前</p></div> <div data-bbox="683 1370 858 1563" data-label="Image"></div> <div data-bbox="443 1496 1102 1989" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1134 1742 1383 1794" data-label="Caption"><p>休憩施設整備後</p></div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	天竜奥三河国定公園
2 施設名	歩道整備 転落防止柵設置
3 公園事業名	天竜峡南宮峡線
4 整備箇所	下伊那郡泰阜村字田本
5 整備年度	平成20～21年度
6 新規整備・再整備	新規整備
7 事業主体	泰阜村 振興課
8 事業費	5,742,500円 (H20年度 1,900,000円、H21年度 3,842,500円)
9 交付金	2,584,000円 (H20年度 855,000円、H21年度 1,729,000円)
10 施設概要	歩道整備 延長129m
11 事例の解説(特徴等)	<p>長野県下伊那郡泰阜村天竜峡南宮峡線は、JR飯田線田本駅から橋を渡って対岸の阿南町までの溪谷を横切る歩道で溪谷を訪れる来訪者も多かった。しかし、歩道幅が狭く、利用者の転落、法面からの落石等の危険性が高いため、本事業による歩道整備を行った。</p> <p>歩道整備にあたっては、周辺の自然景観に配慮した配色・デザインの擬木柵を使用、十分な歩道幅の確保とともに法面整備を実施し、利用者の安全確保とともに利便性を高めることができた。</p> <p>これにより、さらなる利用者数の増加が図られたが、JRと合同で秘境めぐりのイベントを開催するなど、さらなる利用促進を図ることが出来た。</p>
12 施設写真	 <p style="text-align: center;">天竜峡南宮峡線歩道</p>  <p style="text-align: center;">歩道整備後</p>  <p style="text-align: center;">歩道整備後</p>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	飛騨木曾川国定公園
2 施設名	公衆トイレ(名古屋鉄道善師野駅前)
3 公園事業名	東海自然歩道
4 整備箇所	愛知県犬山市(善師野駅前)
5 整備年度	平成20年度
6 事業主体	愛知県
7 事業費	12,600千円
8 交付金	5,670千円
9 施設概要	木造平屋建、建築面積:14.76㎡、延床面積:14.76㎡

10 事例の解説(特徴等)

飛騨木曾川国定公園における東海自然歩道は、木曾川沿いや雑木林の中をとる比較的平坦で歩きやすいコースであるが、一部、岩盤の尾根を通る険しい箇所もあり、バラエティ豊かであるとともに、日本有数の人造湖「入鹿池」、もみじでらと親しまれる尾張最古刹の「寂光院」、日本最古の「犬山城」、溪流下りで有名な「日本ライン」といった自然・文化の名所が随所にあり、また、都市圏から比較的近いことから、県民の手軽な自然散策路やハイキングコースとして四季を通じて親しまれている。

今回整備した公衆トイレは、このコースへの入り口といえる名古屋鉄道善師野駅前にあり、利用者が非常に多いトイレであるが、昭和58年に建築し老朽化が著しいため、交付金事業により建て替えを行ったものである。

建て替えに当たっては、周辺の自然景観へ配慮したデザインとしたほか、トイレより排出される汚水を生物処理(カキ殻)により循環再利用する浄化システムを採用しており、環境にも配慮している。

11 施設写真



再整備後 ~水洗式~



カキ殻の自然浄化能力を活用し
汚水を浄化 洗浄水として再利用



再整備前 ~汲取式~

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	鈴鹿国定公園
2 施設名	東海自然歩道
3 公園事業名	東海自然歩道整備事業
4 整備箇所	三重県三重郡菟野町
5 整備年度	平成21年度
6 事業主体	三重県
7 事業費	4,860,450
8 交付金	2,187,000
9 施設概要	木橋 延長15.0m 幅員1.5m
10 事例の解説(特徴等)	<p>東海自然歩道は多くの利用者があるが、平成20年9月の豪雨により木橋が被災した。そのため交付金事業により復旧を行ったもの。 施設整備にあたっては、三重県産木材や地域産材の石材を利用し、周辺の自然環境に配慮した。</p>
11 施設写真	 <p>The photographs show the bridge in various stages: a view of the riverbed with a stone wall, the completed wooden bridge with railings, the bridge in a state of disrepair with debris, and a close-up of the damaged structure.</p>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	丹後天橋立大江山国定公園
2 施設名	休憩施設
3 公園事業名	天橋立地区
4 整備箇所	京都府宮津市江尻
5 整備年度	平成20年度
6 事業主体	新設
7 事業費	京都府
8 交付金	6,138,300円
9 施設概要	2,762,235円
10 事例の解説(特徴等)	案内板 1基、説明版 1基、ベンチ 3基
<p>天橋立は、日本三景の一つに数えられる日本を代表する景勝地として知られ、多くの観光客が訪れており、丹後天橋立大江山国定公園の指定に伴い、より一層の観光客の増加が見込まれます。このため、利用の増加に対応し快適な利用を提供するため、案内板等を整備しました。整備に当たっては、周辺の自然環境へ配慮したデザインとしたほか、地場産材など自然素材の活用を行った。</p>	
11 施設写真	

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	金剛生駒紀泉国定公園
2 施設名	公衆トイレ
3 公園事業名	近畿自然歩道
4 整備箇所	奈良県葛城市
5 整備年度	平成19年度
6 新規整備・再整備	再整備
7 事業主体	奈良県
8 事業費	20,000,000円
9 交付金	9,000,000円
10 施設概要	公衆トイレ1棟 木造平屋建A = 36.45m ²

11 事例の解説(特徴等)

当該地は歴史・文化財を探索するハイキングコースとして多くの人々に利用されているが、公衆トイレ等の各種利用施設は老朽化が進んでいる。そこで、利用者の安全性・快適性を高めるため、既存公衆トイレの再整備を実施した。
 使用した木材はすべて奈良県産材であるなど、地域材の積極的な活用を図った。また、構造材には県内の公共施設で初めて奈良県地域認証材を使用し、県産材利用に向けたPR活動に貢献した。

12 施設写真



再整備後

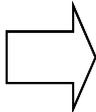
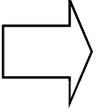
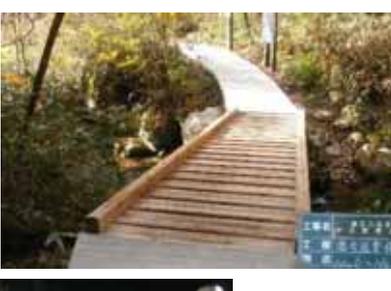
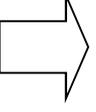


再整備前



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	氷ノ山後山那岐山国定公園
2 施設名	黒岩高原登山線歩道
3 公園事業名	黒岩高原登山線歩道整備事業
4 整備箇所	岡山県津山市阿波地内
5 整備年度	平成21年度～平成22年度
6 事業主体	岡山県
7 事業費	18,939千円
8 交付金	8,523千円
9 施設概要	柵工、階段工、ベンチ、案内板等
10 事例の解説(特徴等)	<p>黒岩高原登山線歩道は渓谷沿いの2.7kmの遊歩道で、上流の布滝を訪れるハイキングなどの人気が高まっているが、老朽化により擬木柵が倒壊し、安全性が確保できない状況となっていた。老朽化した柵、木製階段、木橋、ベンチ、案内板等を新しくするとともに、危険個所の迂回路、手摺、解説板等を新設し、誰でも気軽に自然に親しんでいただけるように改良した。</p>
11 施設写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>< 整備前 ></p>  <p>木製階段 & 木柵</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>< 整備後 ></p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>木橋</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>案内標識</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>解説標識</p>  </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	北長門海岸国定公園		
2 施設名	炊事棟		
3 公園事業名	青海島野営場事業		
4 整備箇所	山口県長門市仙崎紫津浦(青海島)地内		
5 整備年度	平成21年度		
6 事業主体	山口県		
7 事業費	8,000,000		
8 交付金	3,600,000		
9 施設概要	木造平屋建(一部RC造) 建築面積:34.40m ² 延床面積:23.10m ²		

10 事例の解説(特徴等)

北長門海岸国定公園の景勝地である当地は、年間を通じ多くの観光客が訪れており、青海島の豪壮な海岸美や豊かな自然等を満喫するための拠点として野営場を一体的に整備している。

当該地にある整備後36年を経過した炊事棟は、経年劣化が著しく小屋組や木材部を固定しているボルト類、屋根が腐食、老朽化していたことから、利用者が安全で快適に利用できるよう、既設炊事棟を再整備した。

なお、再整備に伴い既設コンクリート柱(計6本)及び土間については、強度等確認の結果、再利用が可能と判断される状態であったため、既設のものに手を加え再利用した。

11 施設写真

整備前



整備後



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	四国自然歩道（四国一番の難所・横峰寺へのみち）
3 公園事業名等	四国自然歩道（四国のみち）
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	愛媛県
7 事業費	3,840千円
8 交付金	1,741千円
9 施設概要	橋梁修復3橋、案内板1基、指導標2基、卓ベンチ1基

10 事例の解説（特徴等）

本ルートは、四国霊場第60番札所横峰寺に通じる遍路道で、歩き遍路や自然散策を中心に、年間約15千人の利用がある。
 平成16年度の台風等による土石流によって、橋梁の石積や防護柵が流されたため復旧を図るとともに、老朽化した標識等の再整備を行った。
 橋梁の石積には周辺の自然石を使用し、防護柵や標識には県産の間伐材を使用するなど、周辺環境や自然環境に配慮した整備を行った。

11 施設写真



橋梁修復



案内板再整備



指導標再整備



再整備後



再整備前

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	公園区域外
2 施設名	公衆トイレ（四国カルストルート支線1）
3 公園事業名等	四国自然歩道（四国のみち）
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	愛媛県
7 事業費	2,940千円
8 交付金	1,323千円
9 施設概要	延床面積：16m ²

10 事例の解説（特徴等）

河合園地公衆便所は、四国八十八ヶ所の遍路道沿いにあり、近くには第44番札所大宝寺、第45番札所岩屋寺があることから、お遍路さんの利用が特に多い。
 昭和57年度の整備時は汲取り式であったが、利用者の衛生的で快適な利用を図るため、水洗化を行った。
 高齢者や歩き疲れた利用者のため、洋式便座と手すりを設置するとともに、冬場の凍結に備えて給配水管等を寒冷地仕様とした。また、整備時は格子からの自然光のみで照明器具を設置していなかったが、利便性と省エネを考慮し、明暗・人感センサー付きの照明器具を設置した。

11 施設写真

	【再整備前】		【再整備後】
	➡		
	➡		
	➡		

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園等名	石鎚国定公園
2 施設名	鉄砲石川野営場
3 公園事業名	面河集団施設地区
4 整備箇所	愛媛県上浮穴郡久万高原町
5 整備年度	平成18年度～平成21年度
6 事業主体	愛媛県
7 事業費	20,864,000円
8 交付金	9,388,000円
9 施設概要	野外炉、ベンチ・テーブル、テントデッキ、標識、駐車場舗装等(再整備)
10 事例の解説(特徴等)	

面河集団施設地区鉄砲石川野営場は、夏季を中心に多くの観光客に利用されている。しかし、炊事棟や公衆トイレは再整備されているものの、その他の施設は整備後かなりの年月が経過して老朽化し、利便性が損なわれていたことから、再整備により施設の充実を図ったもの。再整備にあたっては、周辺の自然景観へ配慮したデザインとしたほか、地場産材など自然素材の活用を推進した結果、公園利用者から好評を得ることができるとともに、集団施設地区全体の利用促進が図ることができた。

11 施設写真



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	耶馬日田英彦山国定公園
2 施設名	休憩所
3 公園事業名等	英彦山園地
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	福岡県
7 事業費	4,748千円
8 交付金	2,136千円
9 施設概要	建築面積：20㎡、延床面積：20㎡

10 事例の解説（特徴等）

当施設は、年間55,000人程度の登山・ハイキング等利用者があるが、既存施設の老朽化が著しいため、再整備を行ったもの。
従来の休憩所が鉄筋コンクリート製の暗く冷たいイメージであったものを、今回木材を利用し開放的で明るい構造にしている。

11 施設写真



再整備後
木造として再整備



再整備前
鉄筋コンクリート造

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	玄海国定公園
2 施設名	自然体験施設
3 公園事業名等	満越野営場
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	新規整備
6 事業主体	佐賀県
7 事業費	18,060千円
8 交付金	8,127千円
9 施設概要	自然体験施設 (建築面積：41.34㎡、延床面積：37.44㎡、3部屋4釜)

10 事例の解説(特徴等)

本施設は、ふれあい自然塾ひぜん(満越ふれあい自然塾)の一環で自然体験プログラムを体験する施設として整備したもの。

この自然体験プログラム(ごえもん風呂体験)では、自然塾周辺の里山での薪の収集から始まり、自分で沸かした風呂に入浴し、燃え残った灰を自然塾の田畑の肥料として利用することで、自然の大切さやリサイクルへの関心を高めるきっかけとなることを目的としている。

11 施設写真



自然体験施設新設

施設外観

施設内部



【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	祖母傾国定公園
2 施設名	九州自然歩道
3 公園事業名等	九州自然歩道
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	再整備
6 事業主体	宮崎県
7 事業費	4,200千円
8 交付金	1,890千円
9 施設概要	木製防護柵、歩道整備、橋梁等
10 事例の解説（特徴等）	<p>県内有数の観光名所である高千穂峡に沿って設けられた九州自然歩道で、自然散策を中心に年間約120万人の利用がある。</p> <p>平成17年9月の台風により河川が増水し、歩道の防護柵が流されたため、利用者の安全性の確保を図るため、防護柵の再整備と危険箇所の復旧を実施したものの。</p>
11 施設写真	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 60%;">  </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p>防護柵の再整備</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>再整備前</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>再整備後</p> </div> </div> </div>

【様式】

自然環境整備交付金による施設整備事例

1 国定公園名等	沖縄海岸国定公園
2 施設名	遊歩道、駐車場、広場
3 公園事業名等	阿波連園地
4 整備年度	平成17年度
5 新規整備・再整備	新規整備
6 事業主体	沖縄県
7 事業費	33,809千円
8 交付金	15,214千円
9 施設概要	歩道、駐車場、広場

10 事例の解説（特徴等）

渡嘉敷島には観光客、修学旅行等年間11万人が訪れている。景観の雄大な景勝地であり、観光地である阿波連地区にある当該地に利用者の利便を考え、平成15年度から遊歩道、展望台、循環式トイレ等の整備を行い、平成17年度には交付金を活用して歩道、駐車場、広場の整備を行った。園地の供用開始後、渡嘉敷マラソン大会が園地を折り返して開催されるなど地域の行事にも活用されている。

11 施設写真

園地遠景



標識整備



歩道整備



広場整備

